

平和祈念祭 式辞

本日ここに、ご遺族並びにご来賓の皆様のご参列の下、「令和 5 年おいらせ町平和祈念祭」を挙げるにあたり、戦没者の御霊に対し、町民を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。

多くの命が失われた先の大戦から、78 年の歳月が流れました。戦争を知る人たちから、当時の様子を伺う機会も少なくなってきましたが、平和祈念祭を行うことで、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを強く感じるとともに、後世に語り継がなければならないことを再認識しております。

そして、今日、私たちが平和と繁栄を享受できるのは、戦禍の中で尊い命を捧げられた戦没者の方々の犠牲と、ご遺族の皆様のご労苦の上に築き上げられてきたことを決して忘れてはなりません。

昨年 2 月 24 日、ロシアによるウクライナ侵略が始まり、早や 1 年 5 か月が経過しました。多くの罪なき方々が犠牲となり、痛ましい映像が今も報道されています。犠牲となられたすべての方に深く哀悼の意を表するとともに、一刻も早い平和的解決の実現を強く願うものです。

また、世界に深刻な影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、今年 5 月 8 日から、感染症法上の 5 類へ移行されました。しかし、感染症は完全に終息したわけではありません。コロナ前のような日常を取り戻すために力を尽くすとともに、基本的な感染症防止対策を継続し、安全で安心な町を目指してまいります。

結びに、戦没者の御霊に永久の安寧と、ご遺族並びにご列席の皆様の末永いご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和 5 年 8 月 3 日

おいらせ町長 成 田 隆